

R6心のアンケート集計 (%)

		小学校	中学校
①学校は楽しいか。	楽しい・まあまあ楽しい	90	92
	楽しくない・あまり楽しくない	10	8
②誰かの役に立っているか。	いる・少しある	76	72
	ない・あまりない	24	28
③授業がよくわかるか。	分かる・まあまあ分かる	89	84
	分からない・あまり分からない	11	16
④自信や自慢できることがあるか。	ある・少しある	82	86
	ない・あまりない	18	14
⑤いじめられたことがあるか。	ある	20	6
	ない	80	94
⑥いじめは続いているか。(いじめがあると答えた人で)	いる	48	0
	いない	52	100
⑦いじめを見たり聞いたことがあるか。	ある	23	10
	ない	77	90
⑧クラスにいじめを許さない雰囲気はあるか。	ある・少しある	71	61
	ない・あまりない	12	17
	分からない	17	22

は、町の小中学生を対象にした調査を実施しました。結果は、次の表の通りです。

「心のアンケート」から

南関町教育長だより

道

第11号R7.2.17



厳しい寒さが続いています。体調管理を十分に！

今日の論語

先生は言われた、「小さなことが、がまんできないならば、大きな望みを成しとげることにはできない。」と。

冬の間朝はとても寒くて起きるのがつらいですね。水で顔を洗うことや、着替えること、学校に行ったり出勤したりすることもできればやりたくない。でも、それを乗り越えて勉強したり仕事をしたりすること、自分を成長させ夢の実現に近づけないものだと思います。小さな忍耐力は、人の成長に欠かせ

子曰わく、「小忍ばざれば、則ち大謀を乱る。」と

表より、次のことが読み取れます。

- 大半の子どもが学校は楽しいと思いつているが、1割ほどは楽しくないと感じている。
 - 「授業が分からない」と感じている子どもが1割以上存在している。
 - 自己肯定感や有用感が高まっていない子どもが2～3割程度存在する。
 - いじめは、どの学校でも発生している。解決しているものもあるが、まだ継続している子どももいる。
 - いじめを許さない学校・学級風土づくりが必要。
- このことを受けて教育委員会は、以下の点を小中学校に指導しています。

見えていない「いじめ」もあり得るという想定のもと、現在継続しているいじめの解消に全力を注いだうえで、次の4点に取り組むこと。

- ① いじめを許さない教師の姿勢を示し、学校・学級にいじめを許さない雰囲気を醸成する。
- ② 安心できる居場所づくりを行う。(子ども同士、子どもと教師の関係構築)
- ③ 安心して相談できる体制づくりと、その周知を図る。
- ④ 分かる授業、子どもの自己肯定感・有用感を育む取組を進める。